

# せせらぎ号通信 第1号

発行者：相模原市コミュニティバス  
「せせらぎ号」運行協議会  
発行日：平成24年3月15日

相模原市コミュニティバス「せせらぎ号」運行協議会では、「せせらぎ号」をより一層ご利用いただくため、「せせらぎ号」に関する様々な情報や沿線のイベント、当協議会の活動などを地域の皆さまにお知らせする「せせらぎ号通信」を発行することにしました。

## ○「コミュニティバス」ってどんなバス？



駅やバス停から一定の距離があり、交通が不便な地区において、主に通院や買い物のための交通手段を確保することを目的に、地域、行政、事業者が協働して運行するバスです。

相模原市では、地域住民による運行協議会の組織化など、コミュニティバス導入のための条件の他、運行を継続するための条件があり、毎年運行実績の検証を行った結果、2年間続けてこの条件を満たさない場合は廃止となります。

### <運行継続条件>

- 「1便当たり輸送人員が10人以上であること」
- かつ「運賃収入が車両償却費等を除いた経常費用の50%以上であること」



## ○「運行協議会」ってどんな組織？

コミュニティバスを運行する上で、地域には、住民の意向把握や利用促進活動などの実施といった役割があります。このため、沿線の自治会・老人会・企業・施設・市民団体等の代表者で構成する相模原市コミュニティバス「せせらぎ号」運行協議会を立ち上げ、様々な活動を行ってきました。

## ○アンケート調査及び乗降調査の結果について

当協議会では、「せせらぎ号」の利用実態や沿線にお住まいの方の意向を把握し、運行内容や利用促進活動の検討材料とするため、アンケート調査と乗降調査を実施しましたので、その結果についてお知らせします。

調査では、多くの利用者、住民の皆さまにご協力いただき、ありがとうございました。

## ◆ 調査結果を踏まえた検討内容

### 【運行ダイヤについて】

運行ダイヤについては、神奈中の路線バスとダイヤが近接しているなどの課題がありますが、アンケートの結果では、ダイヤを「変更したくない」あるいは「そのままでもよい」といった意見が最も多く寄せられたことから、今後の利用状況等を踏まえ、慎重に検討していきます。

### 【バス停の名称について】

利用者が間違えやすいバス停については、名称を変更する方向で検討を進めていきます。しかし、神奈中の路線バスと共用しているバス停は、コミュニティバス利用の方以外にも影響が及ぶため、変更が難しいことから、車内アナウンスの工夫なども検討していきます。

### 【利用促進活動について】

「公共施設」や「橋本駅」の利用が多かったことから、沿線施設でのイベントの開催など強みを強化する活動や、利用が少なかった「小学生以下」の利用を促進する活動を検討していきます。また、コミュニティバスの制度や運行実績などの様々な情報を発信し、利用促進につなげていきます。

調査結果の詳細は、2・3ページをご覧ください

## ◆ アンケート調査

### 【調査概要】

- (1) 実施時期 平成23年10月
- (2) 調査対象 上大島、中の郷、九沢、上九沢、上九沢中央、橋本ライフトアウンの各自治会の内、バス停からおよそ300mの範囲内の班に所属する全世帯
- (3) 調査内容 利用しない理由、運行ダイヤ・バス停名称等を感じる事など

### 【調査結果】

- (1) 回収率【配布枚数1,867枚、回収枚数1,012枚】

全体	上大島	中の郷	九沢	上九沢	上九沢中央	橋本ライフトアウン
54.2%	78.5%	46.7%	56.0%	21.8%	16.9%	67.8%

- (2) 運行ダイヤについて

①運行ダイヤをずらす場合に影響のない時間【回答数：618】

②運行ダイヤに感じる事【回答数：666】

**運行ダイヤについては、①の設問では「変更したくない」、②の設問では「そのままでよい」が最も多く、ダイヤをずらす場合には、現在の時刻より前に早める方が、影響を受ける人が少ないことが分かりました。**

①影響のない時間	回答数	割合
変更したくない	157	25.4%
10分前まで	153	24.8%
15分前まで	61	9.9%
20分前まで	41	6.6%
10分後まで	28	4.5%
15分後まで	18	2.9%
20分後まで	43	7.0%
その他	117	18.9%

②感じる事	回答数	割合
そのままでよい	306	45.9%
改正した方がよい	262	39.3%
わからない	98	14.7%

- (3) バス停名称の変更について

**バス停の名称が紛らわしく、降りるバス停を間違えるといった意見が多く寄せられました。**

バス停	主な理由
北総合体育館	北公園に行く人が乗り過ごしてしまう：下り（相模川自然の村行き）
北公園入口	北公園に行く人が間違えて降りる：上り（橋本駅南口行き）
溪松園入口	溪松園に行く人が間違えて降りる：下り（相模川自然の村行き）

- (4) 利用しない理由（複数回答可）【回答数：381】

**利用しない理由の多くが、せせらぎ号以外の交通手段があるためであることが分かりました。**

理由	回答数
バス以外の交通手段があるので利用する必要がない	163
神奈中バスを利用している	89
利用したい時間帯に運行していない	64
運行状況（運行時刻・経路）がわからない	19
コミュニティバスの存在を知らない	4
その他	42

(5) 日頃感じること（複数回答可）【回答数1, 287】

「コミュニティバスがなくなると困る」、「もっと利用促進すべき」といった意見が多く寄せられました。また、「利用しやすい」と感じている人が多い一方、運行内容に関する意見も多く寄せられました。

意見	回答数
コミュニティバスがなくなると困る	432
利用しやすい	287
もっと利用促進すべき	186
運行ダイヤ（時刻）の改正が必要	161
時刻どおりにバスが来ない	64
停留所を減らした方がよい	50
停留所を増やした方がよい	20
その他	87

その他の意見
増便してほしい
神奈中バスとの時間をずらしてほしい
今後も継続してほしい
料金が低い
将来利用したいと思う
出発時刻を毎時同じ分に統一してほしい
時間がかかりすぎる

## ◆ 乗降調査

### 【調査概要】

- (1) 実施日 平成23年12月14日（水）、17日（土）
- (2) 調査内容 停留所ごとの利用者数、利用者の年代・利用目的を目視及び聞き取りにより調査
- (3) 調査員 市職員、沿線自治会ボランティア

### 【調査結果】

- (1) 利用者数
  - 12月14日（水）：210人（1便あたり 9.1人）
  - 12月17日（土）：277人（1便あたり12.0人）
- (2) 利用目的

平日、休日を問わず「公共施設の利用」が最も多く、約1/3を占めており、その中でも沿線地域外からの利用者が多くを占めていました。
- (3) 停留所

平日、休日を問わず、「橋本駅南口」の利用が8割以上でした。その他では、「相模川自然の村」、「北の丘センター」、「中の郷」、「ライフタウン西口」、「溪松園前」、「北総合体育館」で多くの利用がありました。
- (4) 年代

平日、休日を問わず「大人」（高齢者、学生を除く）の利用が最も多く、約1/2を占めている一方、「小学生以下」の利用はほとんどありませんでした。

○調査結果、コミュニティバスに関するお問い合わせ

相模原市役所 都市鉄道・交通政策課 電話 042-769-8249

○運行協議会に関するお問い合わせ

緑区役所 大沢まちづくりセンター 電話 042-761-2610

## ○「せせらぎ号通信」の創刊について

コミュニティバス「せせらぎ号」は、平成18年1月から3年間の実証運行を経て、平成21年1月30日に本格運行を開始し、合計6年間運行を続けてきました。

相模原市のコミュニティバスは、年間の利用実績などにより、運行の継続を判断することになっていることから、当協議会では、地域で様々な活動を行う団体や沿線施設の協力をいただき、相模川清流の里での絵手紙展や押し花展、「せせらぎ号」車内での写真展などの開催により、地域内外からの利用を促進しています。また、より利用しやすいコミュニティバスを目指し、乗降調査やアンケートなども実施してきました。

この度、「せせらぎ号」が地域の皆さまにより一層親しまれ、愛されるコミュニティバスになることを願い、この「せせらぎ号通信」を創刊することとしました。

この「せせらぎ号通信」をとおして、沿線施設で開催するイベントなどをお知らせするとともに、「せせらぎ号」に関する様々な情報を知っていただき、地域の皆さまに「せせらぎ号」を身近な交通手段としてご利用いただきたいと思います。

また、「せせらぎ号」の運行と当協議会の活動に反映するため、「せせらぎ号」に関するご意見やご質問などをお寄せください。どうぞよろしくお願い致します。

## ○「せせらぎ号」の利用状況

【平成23年4月～平成24年2月末までの実績】

延利用者数 79,111人 1便当たりの利用者数 10.3人

運行の継続には、1便当たり10人以上の利用が必要です。

※年間で必要な利用者数：81,480人 【年間便数：8,148便】

## ○「せせらぎ号」利用促進活動

### 押し花展を開催しました

2月11日（土）～20日（月）、当協議会委員でもある平本淳子さんが代表を務める「アトリエ花絵筆」と会場となった相模川清流の里の協力のもと、押し花展を開催しました。

淡い色、鮮やかな色を自在に使い分け、写実的な作品から幻想的な作品まで40点の力作がそろい、会場内は美術館さながらでした。期間中の来場者は約900人。多くの皆さまが熱心に作品に見入っていました。



<押し花展の様子>

## ○ご意見をお寄せください。

皆様の声をコミュニティバスに反映するため、「せせらぎ号」車内と沿線公共施設（清流の里、北総合体育館、北の丘センター）に「相模原市コミュニティバス コメントカード回収箱」を設置しています。

「せせらぎ号」に関するご意見やご質問等は、こちらでもお受けしています。